

# OLBA REPORT

## 第72期 中間報告書

2020年7月1日 ▶ 2020年12月31日

カワニシホールディングスは  
2021年1月より、  
オルバヘルスケアホールディングスに  
社名変更しました。



# OLBA

## HEALTHCARE

### **O** ONE 連携

ヘルスケアを支えるため、  
グループがひとつになる

お客様、そして社内外のビジネス・パートナーとの連携を深め、国民の皆様が健康に長生きできる地域のヘルスケアを支えます。

### **L** LEARN 成長

医学・医療・介護への  
貢献を目指し、学び続ける

一人ひとりが、謙虚に学び、成長することで、医学・医療・介護の発展に貢献できる組織となります。

### **B** BENEFIT 信頼

常に満足いただける、  
信頼される存在になる

最先端の情報と革新的な機能と技術をスピーディーにお届けし、皆様の期待に応えるサービスを提供します。

### **A** ACTION 探求

挑戦を恐れず、  
グローバルフロンティアを探求する

さまざまな方々と積極的に交わり、グローバルな視点でフロンティアを探索します。持続的な成長のために、倫理観を持ち、誠実でフェアな姿勢を心がけます。

## TOP MESSAGE



# ビジネスを通じて 医学・医療・介護の発展を志す

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響下、医療や介護の現場でご尽力されている方々、社会基盤の維持に貢献されている方々に、深く感謝を申し上げます。

当社は2021年1月1日付で、商号を株式会社カワニシホールディングスから「オルバヘルスケアホールディングス株式会社」に変更しました。2021年5月1日に創業100周年を迎えるにあたり、次の100年に向けての新たな出発点としたい、そして、当社のアイデンティティである「ヘルスケア」を社名で明確に示す、という想いを託しています。また「オルバ(OLBA)」には、「地域のヘルスケアにおいて、人と技術がつながりひとつの円(オーバル:OVAL)になる未来を目指し、グループの軌道(オービット:ORBIT)を示す」、という意味が込められています。

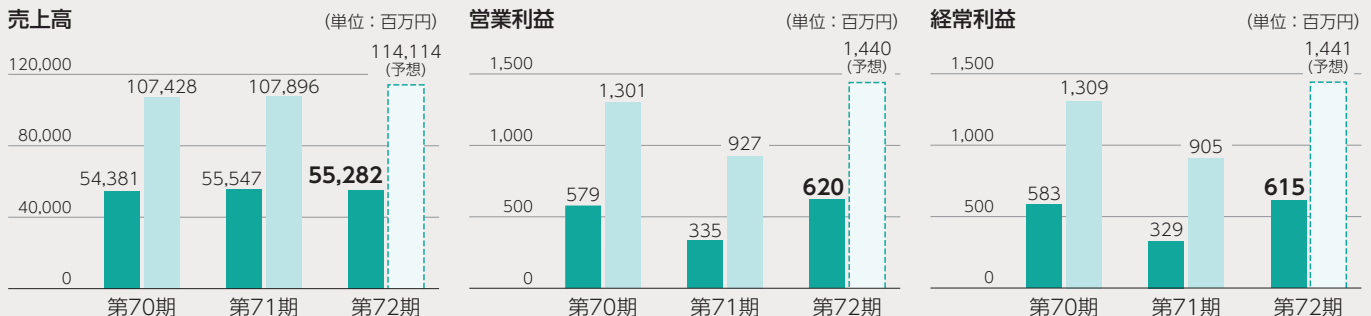
また、社名変更を契機にグループ内の連携を強化し、企業理念の共有・企業文化の醸成を図り、社員エンゲージメントの向上を目指します。「つなぐ、人と未来」というテーマを基にブランドステートメントを作成し、当社の社会的意義、すなわち



代表取締役社長 前島 洋平

## 業績ハイライト

■ 中間 ■ 期末 □ 期末予想



## Brand statement

# つなぐ、人と未来。

## Connecting us to the future

私たちは、地域の医療と介護を支え、ヘルスケアを進化させるリーディングカンパニーで私たちは、

医療の発展と豊かな暮らしを志す人々に対して、

最先端の情報と革新的な技術を用いて想いに応えるサービスを提供します。

私たちは、何事にも誠実に向き合い、喜びも共に分かち合います。

変化を恐れず挑んできた足跡と、社員の成長によって築いた100年以上の信頼が、私たちの誇りです。

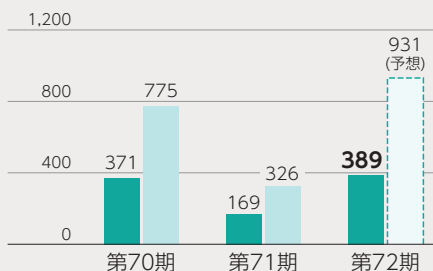
ミッションと将来に向けてのビジョンを明確化しました。

さて、新型コロナウイルス感染症は医療のみならず、社会・経済的にも多大な影響を及ぼし、いわゆる「ニュー・ノーマル」の時代が到来していますが、当社でもDX(デジタルトランスフォーメーション)を積極的に推進します。オンライン会議の活用、テレワークの推進、電子カタログの活用など、業務の生産性向上と働き方改革

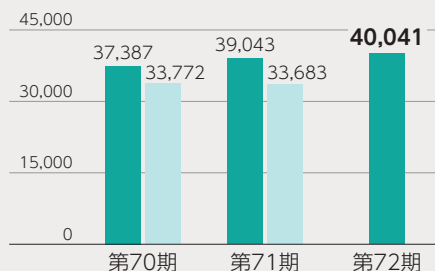
を図りつつ、健康経営にも取り組んでいきます。

当社では「ビジネスを通じて医学・医療・介護の発展に貢献し、国民の健康長寿に寄与する」というパーパスを掲げております。社名変更後もこのパーパスの実現を目指してまいる所存ですので、株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 (単位:百万円)

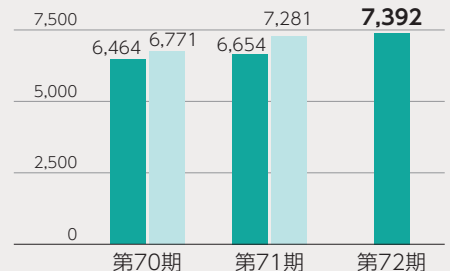


総資産



(単位:百万円)

純資産



(単位:百万円)

# セグメント概況

当第2四半期の連結売上高は552億82百万円(前年同期比0.5%減)、連結営業利益は6億20百万円(前年同期比85.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億89百万円(前年

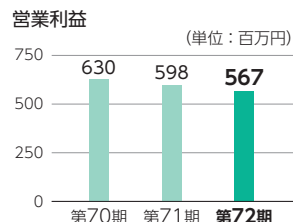
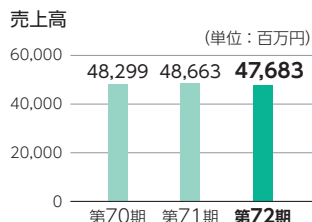
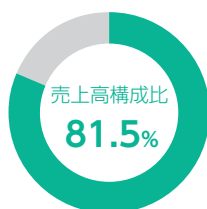
同期比129.7%増)となりました。セグメントごとの業績は次のとおりです。なお当期より、「輸入販売事業」を報告セグメントから除外しています。

## 医療器材事業

(株)カワニシ・サンセイ医機(株)・  
日光医科器械(株)・  
(株)カワニシパークメド



成長の軸となる消耗品売上高は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の感染拡大に伴う手術件数減少の影響を受けた一方、コロナ対策による需要増加によりPPE(マスク、手袋等の個人用防護具)関連製品が伸び、前年同期比2.7%減となりました。設備・備品の売上高は、ECMO(血液の体外循環による呼吸治療装置)や人工呼吸器など、コロナ対策関連の予算執行があったことにより、前年同期比6.1%増となりました。その結果医療器材事業は、前年同期比減収減益となりました。

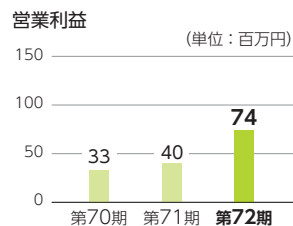
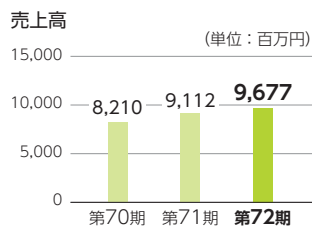


## SPD事業

(株)ホスネット・ジャパン



前期に新規で受託した施設が順調に稼働したこと、PPE関連製品の需要が増加したことなどにより、前年同期比増収増益となりました。

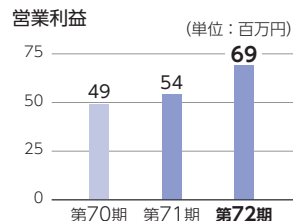
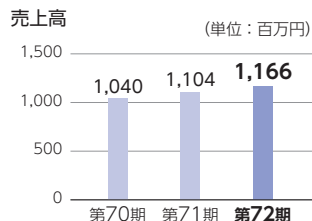
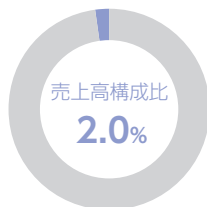


## 介護用品事業

(株)ライフケア



主力の介護用品レンタル売上高が順調に成長を続けており、レンタルに付随する物品販売において空気清浄器や飛沫防護用パーテーション等のコロナ対策品に対する需要が高まったことや、住宅改修も順調に推移したことにより、前年同期比増収増益となりました。



# TOPICS

## 新型コロナウイルスへの対応

いま、ヘルスケア産業の果たす役割の重要性が、改めて認識されています。わたしたちオルパグループは、地域のヘルスケアを支える企業グループとしての責任を果たすべく、さまざまな取り組みを行っています。

### 医療・介護を止めない

このたびの新型コロナウイルス感染拡大のような非常時・緊急時にあっても、決して地域の医療・介護を止めない、ということはわたしたちの存在意義であり、ミッションです。

感染拡大がはじまった当初は、医療機関でマスク、消毒液、手術用ガウン、手袋、キャップなどが不足し、さまざまな混乱が生じました。しかし、長年にわたって築きあげた仕入先との信頼関係があったこと、社内SNSを活用し日本各地の営業拠点間で頻繁に情報交換を行ったことなどから、製品の安定供給を続けることができました。また、製品の不足や欠品に不安を抱く医療機関のスタッフの皆様に対しては、できる限りの情報提供を続けてきました。わたしたちは、今後も地域の医療・介護のための取り組みを継続していきます。

### 感染予防対策・感染時対応は万全に

事業を継続するうえで、従業員一人ひとりが感染予防対策を徹底し、安全な環境で働けるよう配慮しています。引き続き、テレワークの推進、オンライン会議の活用なども行いながら、従業員一人ひとりが安心して生き生きと働ける環境を整備していきます。

### 制約からイノベーションを生み出す

新型コロナウイルス拡大をきっかけに定着した「ニュー・ノーマル」という言葉。わたしたちも新しい日常に適応していかなければなりません。その過程には、さまざまな制約が課せられますが、それはイノベーションが生まれる契機にもなります。

感染予防対策製品への需要が増大するなか、当社グループの注力する医工連携活動では、数々の製品開発への協力を行っています。

グループ会社のサンセイ医機ではこのたび、「簡易陰圧装置 可搬型陰圧クリーンドーム」の国内総販売代理店となりました。患者様のいるベッドをドーム型の本製品に入れることで、医療従事者と患者様を隔て、最前線で働く医療従事者の感染リスクを軽減することができます。医療従事者の安全・安心を第一に、今後、最も必要とされる最新の簡易陰圧装置です。新型コロナウイルス対策としても有効で、全国各地の医療機関から受注いただいております。



# 会社及び株式の状況 (2020年12月31日現在)

## 会社の概況

資本金	607,750,000円
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
従業員数	40名(単体)、1,233名(連結)
本社及び事務所	本社 岡山県岡山市北区下石井1-1-3 日本生命岡山第二ビル 東京事務所 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング4階

## 役員

代表取締役社長	前島 洋平	社外取締役	川元 由喜子*
取締役副会長	高井 平	社外取締役	北川 敬博*
常務取締役	磯田 恭介	常勤社外監査役	守谷 純一
常務取締役	村田 宣治	社外監査役	佐藤 雄一*
取締役	桑村 勝之	社外監査役	周東 秀成*
社外取締役	服部 輝彦*		*独立役員

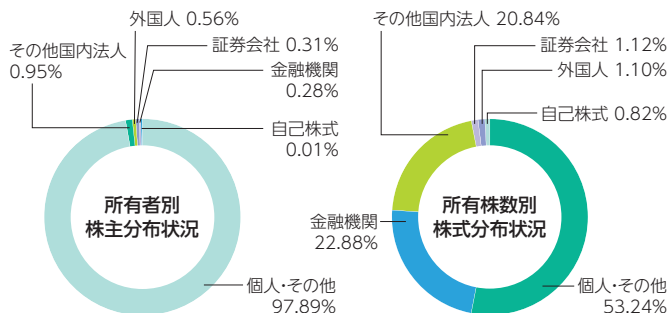
## 株式の状況

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式数	6,250,000株(内自己株式51,005株)
1単元の株式の数	100株
株数	6,819名

### 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マسوب	809	13.06
カワニシ従業員持株会	402	6.49
前島 達也	300	4.84
株式会社山陰合同銀行	278	4.49
株式会社中国銀行	277	4.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	200	3.23
三井住友信託銀行株式会社	200	3.23
前島 洋平	187	3.02
前島 智征	186	3.01
株式会社伊予銀行	165	2.66

### 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	定時株主総会 毎年6月30日 期末配当金 毎年6月30日 中間配当金 毎年12月31日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人

大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事務取扱場所

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎ 0120-782-031

(インターネット  
ホームページURL)

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法

当社のホームページに掲載

(<https://www.olba.co.jp/>)

上場金融商品取引所

東京証券取引所市場第一部(コード2689)

単元株式数

100株

## 株主優待のご案内

毎年6月30日現在(基準日)の株主名簿に記録された株主の皆様へ、以下の基準によりQUOカードを贈呈いたします。毎年1回、当社定時株主総会終了後の9月下旬に発送します。

### 保有年数3年未満 ▶

所有株式数	謹呈QUOカード
100株以上 500株未満	1,000円分
500株以上 1,000株未満	2,000円分
1,000株以上	4,000円分

### 保有年数3年以上 ▶

所有株式数	謹呈QUOカード
100株以上 500株未満	2,000円分
500株以上 1,000株未満	3,000円分
1,000株以上	5,000円分

